

## 赤木裕子住宅設計室

## 赤木住研

赤木裕子住宅設計室工務部

〒300-1152 稲敷郡阿見町荒川本郷 1343-85

TEL 0298-42-3027 FAX 0298-42-6601

### 安く家を建てる方法？

お正月のことです。「自然エネルギー住宅を安く建てたいのです。」と相談されました。「現状の金額では若い人には建てられないでしょう。こうすれば出来るという方法を研究して、広めたいと思っていますのです。」もともと自然エネルギー市民運動をしている人で、もっと普及させたいとのことでした。

今暗礁に乗り上げています。安いということは悪いにつながりやすい。規格品は安いが特別注文は高い。材料費は安くても人件費はかかる。設計料もかかりますよ。

建設費は原価が明確でないなど、不透明な部分も多く、施主の立場にたってみると不安も大きいのだと思います。そういう意味では自分でチャレンジしてもみることも決して悪いことではないと思い、じっと見守っています。

### ビオトープの実践

9年前に設計をしたつくば市のKさん。「自然環境を呼び戻すために《ビオトープ》を作りたい。」とのことでした。ビオトープとは様々な野生生物が共存し、生態系が成りたっている空間のことです。

話には聞いた事があるが初めての経験。早速資料を買い込み、インターネットで調べて、基本構想をたててみました。

近隣への影響も考えて、**ビオガーデンとする**  
**ふれあい・・楽しめる空間とする**

小高い雑木林 チョロチョコと流れる小川と池  
小さな広場 木の橋を渡り 小道を歩いて自然観察  
疲れたらあずまやで一休み

いつの日か小鳥が訪れ 新しい植物が芽生え

小さなせせらぎに生物が宿り

～考えただけでもわくわくしてきます～

### 我が家のバリアフリー

#### 4. 直ぐ先に見えてきた私たちの老後

このように、私たちの家は赤木さんの設計で生まれ変わった。工事が完了したのは平成7年である。予想を上回るできばえに私たちも満足した。年寄いた両親も歩きやすく広々としたバリアフリーのリビングを楽しんだ。長男、次男、その家族が一緒になった大集合も、テニスのお仲間を集めたパーティも出来るようになった。この段差のない広さと、床暖は我が家の自慢の一つであった。設計士に設計をお願いして良かったと思った。

それにもかかわらず、この世は無常なもので、バリアフリーへ改造したわずか1年後に義父は83才で急逝した。遺品となった100号の絵がリビングには飾ってある。

今94才の義母は亡くなった義父の分までバリアフリーの恩恵をうけている。ステッキが必要なほど足腰が弱ってはいるが、自分の部屋から一人で私たちのキッチンへ歩いてくる事ができる。段差が所々にあったらそうはいかないだろう。



このように、両親の足腰の衰えが動機になって我が家のバリアフリーは始められたが、気が付けば、自分たちの老後を考えて、設計図を拡大していた。幸いにして、今は、私も妻もテニスが出来るほど丈夫である。しかし、義父のことを思い出すと、足腰の衰えは加齢と共に急速に進行する。骨折、脳梗塞などが起これば、事態は一気に進む。直ぐ先に来つつある私たちの老後を見つめて、バリアフリーと床暖にしたことは良い選択だった。もっと早くやっていたらとさえ思う。

赤木さんに感謝すると共に、その方向にいち早く気づいた妻の判断も良かったと思っている。(終)



土浦市の高村義親様でした。  
喜んでいただいて、  
うれしく思います。  
ありがとうございました。

## 最近のできごと

### やさしい環境



### 見事な旅立ち



HP を見られた方はご存知だと思いますが、家では4匹の猫を飼っていて、その内の1匹が今心臓が悪く病院にかかっています。言葉が話せないからよ〜く観察して状態を把握するしかありません。言葉と言え、人間の言葉が猫（動物）にはどのように聞こえているんだろうと思うことがあります。「おいで」と言って手招きすればちゃんと膝の上に来るし、「いけません」と言えれば顔をすくめて叱られたんだなぁと言う動作をする・・・すべて理解しているように思えます。しかしそれは言葉じゃなくて人間が発するアクセントを微妙に感じての行動なのかもしれませんね？反対に猫の言葉はというと、台所で「にゃ〜お」と泣けば「ご飯」というふうに関連で私たち人間は解釈し、それが本当に訴えていることかどうかは疑問です。

いずれにしてもいつもこの子（猫）達に癒されてる私達としては、なるべく自然体でのびのびとできる環境を与えてあげたいと思っています。（佐藤）

「言葉が話せないから、よ〜く観察して…」まてに感じるような気がします。

先日、義母が87歳で他界しました。寂しさと思い出が交錯する中、なんて見事な永眠をしたのだらうと感心しています。

亡くなる前日は、私の家に遊びに来て庭の草取りから菊の苗作りまで手伝ってくれました。手を動かしながらも絶えず話しかけます。「健康はいいわねー楽しいことがいっぱいあり、本当に有難いわ」詳しく聞いてみると週に1日は『たいこ橋』に行っ、カラオケ・踊り・手芸などを楽しみ、優しくしてくれるスタッフやお友達と話をしていると、時間を忘れるのだとのこと。『たいこ橋』とは、「生きがい対応型 民間ミニ・デイサービス」であり、ボスの赤木さんと建築士会土浦支部女性部会の皆さんで知恵を出し合い設計・監理をした施設です。

霊前には大勢の友だちや知り合いの方がお別れに来ていただきました。よく働き、よくしゃべり、ボケることなく素晴らしい幕引きだったと思います。人を愛し、自然を愛した人でした。（栗山）

理想の幕引きであよね。いつまでも健康で、誰にも迷惑をかけることなく『バタッ!』



### 太陽の恵み

最近ガーデニングに目覚め、庭に出る回数が増えました。草花を良く見ると、不格好に斜めになりながらも太陽に向かって咲いています。一生懸命太陽の恵みを体に受けようとしている姿に、愛らしさを感じています。

現在計画中のM邸は、太陽光を利用する「OMソーラー」と「太陽光発電システム」を設置する予定です。以前は太陽光というと、菅原文太の「アサヒ・ソーラーじゃけん!」を思い出す程度でした。これは、水を温めお風呂に利用するものですが、最近は空気を暖めたり、電気を作ったり、いろいろあります。行政の補助制度は、まだ太陽光発電システムですが、取り入れる所も増えています。土浦市も今年度から開始されました。それだけ需要が増えてきた現れでしょうか…?

そういえば、建物も太陽に向かって建っていますよね! 草花と同じですね。（根本）

自然のめぐみは1匹にしたいですね。1邸に1つがって回転する住宅をテレビで見たことがあります。



リフォーム後↑  
リフォーム前→



#### 高村邸

台所から書斎コーナーを見たとこです。食事もできるカウンターと流し前の大きな窓がポイント!

スタッフ

◆あがきゆうこ

◆さとうけいこ

◆ねもとゆきよ

◆くりやまとしほこ